

10月7日の前期終業式で代表児童が話した内容を紹介します。

【前期終業式での児童の話】

1の1 常盤 夏帆さん

わたしは、前期にがんばったことが二つあります。

一つ目は算数の計算カードです。家で毎日、足し算と引き算のカードを1分以内に言えるようにがんばりました。もう少しできそうなのでこれからも続けます。

二つ目は、お掃除です。げた箱掃除で27人分の下駄箱をお掃除するのは大変でした。きれいになってうれしかったです。

後期は、鉄棒をがんばりたいです。

3の2 齋藤 蒼さん

ぼくが3年生の前期でがんばったことは、3つあります。

一つ目は算数のかけ算の学習です。2年生の時に覚えたかけ算九九を今でも毎日家で練習しています。わり算やかけ算のひっ算では、かけ算九九を使って計算をするので、練習をしやすさ言えることがとても役立っています。とても自信ができました。

二つ目は、体育の水泳学習です。今年から大プールの方で泳ぐことができました。大きいし深いので、とても不安でしたが、水に浮くことができたので、安心して楽しく泳ぎの練習ができました。大プールの横の長さを泳ぎ切ることができたので、とてもうれしかったです。

三つめは、10月2日にやった富士川大運動会のことです。中学校の運動場で、中学生とおうちの人と一緒にやって、とてもわくわくしました。3年生はいただきへのはじまりダンスと台風の目をやりました。ダンスリーダーとして取り組んだダンスはとても自信がありました。楽しく笑顔で踊れたので、とてもよかったです。中学生のリレーを近くで見ることができて迫力があり、やっぱり中学生はすごいなと思いました。

後期もいろいろなことにチャレンジして4年生につなげていきたいと思います。

5の2 久松 杏さん

私は前期に二つのことをがんばりました。一つ目はあいさつ活動です。学校内の仲間や先生だけでなく、地域の人たちにもあいさつをするようにしました。理由は、自分からあいさつすることは大切なことだし、あいさつをすることによっていつも一緒に過ごす人たちや私たちを見守ってくださる方々に感謝の気持ちを伝えられると思ったからです。そのことを私たち5年生みんなで取り組んでいけるように意識し努力をしてきました。運動会でも中学生の人たちに気持ちの良いあいさつをするよう心掛けました。

二つ目は、1泊2日で行けた「みどりの学校」です。「みどりの学校」では思っていた以上に協力することが大切でした。特に飯盒炊さんやオリエンテーリングでは、仲間と話し合い、気持ちを共有しお互いを支え合うことの大切さを学びました。一人ひとりが自分の役割を果たしながら仲間のことを気遣い、声を掛け合って助け合えるよう意識しました。これはとても大変なことでしたが、みんなで取り組むことにより大切なことを学べたように思います。

後期では、さらにあいさつの輪を広げ、みんなで気持ちの良い生活が送れるようがんばりたいです。また、今以上に6年生に教えてもらいながら自分たちが最上級生になった時に今の6年生のように立派なリーダーになれるよう、一日一日を意識して取り組んでいきます。

なかよし1組 望月 峻我さん

ぼくが前期にがんばったことは、二つあります。

一つ目は体育で5分間走をがんばりました。いつも12周走ることを目指してがんばりました。毎回体育の授業で5分間走をすることで速く走れるようになりました。

二つ目は、算数の形の勉強です。形の名前をたくさん知ることができました。

後期もたくさん勉強をがんばりたいです。